東中学校だより（５）　令和8年9月1日

麓あかくそびえて建てり　校歌の一節より



佐久市立東中学校　〒385-0007　佐久市新子田1396-1　Tel.67-2392

2学期のスタートにあたって　校長先生からのお話

２学期のスタートにあたり、校長先生から次のようなお話がありました。

1学期の終業式で「My pleasure！」の言葉になぞって、皆さんに、夏休みの私からの願いを話させていただきましたが、“家族の一員”として、そして“地域の一員”として、よい夏休みになりましたか？また「1ヶ月もある夏休みだからこそできる“挑戦”をしませんか！」とお話させていただきましたが、皆さんどうでしたか？
きっとよい夏休みになったことと思います。
夏休み中、学校に来ると、生徒会の役員の皆さんは、白樺祭の準備のために登校する姿がありました。
生徒昇降口のCountdown表には、2学期最大の行事「白樺祭」まであと17日がかかげられています。

２学期は、ハンバーガーで例えると、“具の部分”と言われ、最も充実する学期です。
夏休みに“身につけたこと”や“準備したこと”をもとに、大いに頑張っていきましょう！
しかし、2学期は暑い夏の時期から、秋をこえ、冬に至る長い学期です。日数として83日。この83日の長い学期を充実するために、今日は、遠い距離を飛行する『渡り鳥の飛行』の話をしたいと思います。

小学校の頃に、椋鳩十さんの『大造じいさんと雁』というお話を読んだことがあるのではないかと思いますが、雁という鳥もロシアのシベリアや北極圏から日本の越冬地まで飛行する渡り鳥です。
その飛行距離は、なんと片道で3000㎞～4000ｋｍになります。



では『雁はなぜ遠くまで飛行できるのでしょうか？』
・・・それは、雁が集団で飛ぶ飛行隊形にあると言われます。Ｖ字飛行と呼ばれる雁の飛行形態です。
渡り鳥の一種、“雁”は多くの仲間たちと隊列を組んで飛びます。雁には、本能的に仲間を守ろうとする資質が備わっているようです・・・。
数千キロにも及ぶ飛行中、隊列の先頭にいる雁は、後ろにいる雁たちを風の抵抗から守るのだそうです。ある研究によれば、先頭集団を飛ぶ雁たちの羽ばたきによって、上昇気流が発生し、それが後ろを飛ぶ仲間の飛行を容易にしているのだそうです。

では、もっとも風の抵抗を受ける鳥は、どんな立場の鳥なのでしょうか？
実は、リーダーとなる１羽の渡り鳥が、常に先頭で隊を引っ張っているかというと、そうではないのだそうです。
先頭を替えながら、仲間がつぶれないようにみんなで、先頭を交代しながら引っ張っていくのだそうです・・・。

渡り鳥たちは“雁行飛行（Ｖ字飛行）”を習得する進化の中で、思いやりにあふれた非常に高度なチームワークも習得していたようです・・・。

２学期は白樺祭をはじめ大きな行事があります。生徒会役員の皆さんは、まさに、先頭を切って引っ張っていかなければならない時があることでしょう。でも、自分達だけで引っ張るだけでなく、3学年の仲間全員で、あるいは全校の会員の仲間全体で進んでいければよいのではないかと思います。
また、2学年の皆さんは、引き継いだ部活動を、風に立ち向かい、先頭を切って、仲間を風の抵抗から守りながら引っ張っていかなければならない時もあるでしょう・・・。
さらに、1年生、2年生、3年生どの学年、どのクラスにおいても、風に立ち向かい全体を守りながら、進まなければならない人もいると思います・・・。
しかし、一人で引っ張っていく必要はないはずです。『おもいやり』と『高度なチームワーク』で仲間を支えながら、この長い２学期という飛行を、全員で元気に渡り切りたいですね！





白樺祭が終わる頃は、まさに実りの秋を迎えます。皆さんの頑張りが、きっと大きな実を結ぶと思います！２学期のスタートです！張り切っていきましょう！